

県職員の給与等の報告に当たって

愛媛県人事委員会委員長談話

(平成25年10月8日)

本日、人事委員会は、県議会議長及び知事に対し、県職員の給与等について報告を行いました。

本年は、県職員の月例給が民間従業員の月例給をわずかに下回っているものの、その較差は極めて小さなものであるため、基本給の改定を見送ることとしました。また、特別給についても、同様に公民水準がおおむね均衡していることから、改定を行わず、現行の支給月数どおりとすることとしました。その結果、本年は、給与水準の改定のための勧告を行わないこととしました。

人事委員会勧告制度は、労働基本権を制約されている県職員の適正な処遇を確保するためのものであり、県職員の給与を人事委員会勧告に基づいて適切に決定することは、県民から支持され得る納得性のある給与水準を確保するものとして定着しており、県職員の努力や成果に的確に報いるとともに、行政の効率的、安定的な運営に寄与するものと確信しています。

県職員の皆さんには、改めて、全体の奉仕者としての責務を自覚し、県民の公務に寄せる期待と信頼に応えるよう、県職員としての誇りと使命感を持って一層職務に精励されることを望みます。

県民各位におかれては、人事委員会が行う報告の意義と県職員が様々な分野で県民福祉の向上に努めている実情について、深い御理解をいただきたいと思っております。